

議会だより

あしや

No.222

令和6年
8月25日発行

来年の夏も

来ようね



芦屋海岸・鏡の海にて

6月
定例会

特集 移住・定住	2P
6月定例会	4P
町政を問う一般質問	6P
議会活動報告	12P

表紙の関連記事は14ページに掲載しています。

に聞いた！ ホレたっちゃ～



特集担当萩原議員

芦屋町を選んだ理由

夫の転勤が決まり、家族で引っ越すつもりでしたが、中学生の長男が「芦屋中学校で、部活（吹奏楽）を続けたい」と希望したため、思い切って中古住宅を購入しました。築35年でしたが元々しっかりした造りの家だったので1年かけて趣味でリフォームしました。

芦屋町に移住・定住を決めた八木澤さんと石川さんに話を聞きました。

町も移住定住に取り組み、ここ数年は新しい住宅を見かけることが多くなりました。町の良さを発信し、補助金制度の周知にも取り組んでいきたいと思います。



石川幸江さんご家族

出身

出身は仙台です。芦屋町に来る前は東京に住んでいました。

良かったところ 悪かったところ

芦屋町では通学費の補助もあり、最近は高校の通学バスもあるようなので交通のアクセスはあまり気になりません。



リフォームしたキッチン

芦屋町に移住定住しようと思ったときは！

町では定住促進奨励金だけでなく、新婚さんであれば「新婚世帯民間賃貸住宅家賃補助金」、町外から転入してくる未就学児がいる子育て世帯であれば「子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助金」があり、どちらも最長72カ月で最大72万円を商工会商品券で交付します。

ほかにもさまざまな補助金メニューがありますので、詳細は芦屋町補助金ガイド（移住定住）をご覧ください。



詳細ページ



環境住宅課 新開課長

特集

移住・定住者 芦屋のココに

活用した補助金

定住促進奨励金で、3年間は固定資産税相当額分の商品券がもらえます。

良かったところ 悪かったところ

歩いて海に行けるとこや、人と人との壁がなくとても話しやすいところです。きっと前の住人さんが引っ越し前に顔つなぎをしてくれたからだと思います。また海のゴミをもっと減らせるといいですね。

芦屋町を選んだ理由

海に近い場所に住みたいと思い、門司や岩屋など北九州市方面を探していましたが、この家を見て一目で気に入りました。また芦屋町在住の夫の同僚から「芦屋町もいいよ」と聞いたことも決め手になりました。

出身

出身地は奈良で、沖縄や東京で暮らしたこともあります。



八木澤潮音さん

町の不動産屋さんにも聞いたちゃ！



不動産の末次弘幸さん

「土地が安い、海が好き」といった理由で、中古住宅購入や新しく家を建てる人が増えています。

また、解体費用助成金や定住促進奨励金など、町の助成金を使う人も多くいますが、町外者や若い人は助成金のことを知らないことが多いので、役場の窓口などでお知らせするといいかもしれません。

6月
定例会

学校給食費の無償化決定

町民に寄り添った施策を評価

◆給食費の無償化

(補正額：1424万円)

小中学校の給食費を令和6年9月から令和9年3月まで無償にします。

問 全額無償化に踏み切った経緯は。

答 学校教育課から教育委員会や関係各署に相談し、内部協議の結果、全額無償化に踏み切った。



配膳の様子

生まれ育った町で3人の子

育てがしっかりできているのは、いつも子育て世代に寄り添ってくれる芦屋町だからだと思います。9月からの給食費無償化にも感謝しています。



藤井さん (柏原区)

栄養バランスのとれた給食

があるだけでもありがたいのに、給食費の補助はとてうれしく感謝いたします。子育てするには最高の町ですね。



増田さん (高浜区)

◆空家対策事業

(補正額：780万円)

注1
特定空家を解体します。

問 空家所有者に対して解体費用を請求するのか。

答 すでに亡くなっている。空家所有者に対して解体費用を請求するの。法定相続人の14人も相続を放棄している。法令に基づき町が略式代執行を行うもので、費用は町の負担となる。

注1

特定空家…倒壊などの恐れがあり放置

不適切と認める空家



ハローデイ跡地に隣接する特定空家

◆定額減税補足給付金(調整給付金)

(補正額：1億2758万円)

令和6年度に行う定額減税の対象者でありながら、定額減税しきれないと見込まれる人に、その差額を給付金として支給します。

問 芦屋町の給付対象者は何人か。また、対象者への通知はいつ頃か。

答 定額減税の適用人数は約5700人。うち補足給付金の対象者は約3000人を見込んでいます。8月下旬に書面郵送、9月中旬頃の給付を見込んでいます。

詳細は芦屋町のホームページをご覧ください。



詳細ページ

一言インタビュー

芦屋町にあったらいいな



みらいさん(写真左22歳)

本を読みながらゆっくりくつろげるカフェがあったらいいな



樋口亜矢子さん(40歳代)

名画座(※注1)
があったらいいな

※注1

名画座…主にロードショーとしての公開を終えた作品や、過去に上映された作品をメインに上映する映画館

◆新型コロナウイルス 予防接種業務

(補正額：3485万円増額)

令和6年秋からの新型コロナウイルスワクチン接種を開始します。

65歳以上・非課税世帯の自己負担額は無料で、65歳以上・課税世帯の自己負担額は約3300円です(1人あたり国が8300円、町が3400円負担します)。

問 65歳未満の負担額はいくらか。

答 約1万5000円の予定。ただし、11歳以下は未定。

問 基礎疾患のある人はどうなるのか。

答 60歳から64歳の対象者は65歳以上の課税・非課税世帯と同額になる。

◆総合運動公園 中央グラウンド 改修工事設計

問 前年度はバックネット周辺で雨水処理の不具合があったが関連は。

答 平成3年度供用開始から33年経過し、長年の風雨で真砂土が減少し全面に石が露出している。近年バックネット周辺で降雨後水たまりができ、なかなか解消しない。また、グラウンドの地盤沈下が進んでいることからグラウンド面と観客席の改修を行うための設計委託を行う。



総合運動公園中央グラウンド

賛成

【保護者の皆さんと共に分かち合いたい】

妹川 征男 議員

小・中学校の給食費完全無償化の議案は「2学期より保護者負担無し」とするため一般会計より約1400万円を追加し、給食センター会計に繰り入れている。給食費完全無償化は、保護者の経済的負担を軽減し、ひいては子育て支援や少子化対策にもつながり大変意義深い。憲法、教育基本法には、義務教育費は無償とするという条文がある。その理念に基づき給食費完全無償化を提言してきた者として、保護者の皆さんと共に喜びを分かち合いたい。



賛成

【子どもたちの健やかな成長を保障するものだ】

川上 誠一 議員

今回、学校給食全額無償化に踏み切ったことは画期的なことであり大変評価するものである。町では18歳までの子ども医療の無料化を行っており、今回の学校給食の無償化により子どもたちの健やかな成長を保障し、安心して生み育てることの環境を実現するものだ。関係各課の努力と町長の決断に敬意を表する。学校給食は憲法26条2項にのっとり国が責任を持つものである。住民と議会、自治体が力を合わせ国の支援を実現させることが求められる。



図書館にカフェが併設されるといいな



奥田美鶴さん (60歳代)

キャンプ場でのんびりしたい



宮崎美里さん (40歳代)

実現するといいな～





町政を問う 一般質問



一般質問会議録

6月7日に5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
7	松岡 泉	◎ 町役場の住民サービス ◎ 人材の発掘・育成
8	本田 浩	◎ 芦屋町高齢者福祉計画
9	萩原 洋子	◎ 洞山・堂山の整備 ◎ インセンティブ交付金
10	川上 誠一	◎ 学校施設環境改善交付金 ◎ 会計年度任用職員の処遇改善 ○ ファミリーシップ制度 ◎ 子どもの権利条例の制定
11	長島 毅	◎ シティプロモーションの推進

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。





町役場の住民サービス

役場の利用サービスは

総務課長

住民の声に適切な対応

問 役場の利用しやすい環境や職員の対応は、町民との信頼関係を構築するための重要な要素の1つである。住民の声に対する対応策は。

答 各担当課が日頃から情報収集や検討を行い必要に応じた対応策や改善策を行っている。

問 他自治体では難聴者や高齢者のために軟骨伝導イヤホンを窓口に配置しているところがある。町役場でも、まだ改善の余地があると考えるが。

答 町では、助聴器を設置している。職員の声を聞きやすい大きさに調整でき、利用者から評価を得ている。軟骨伝導イヤホンは、耳周辺の軟骨を伝導させて音を伝えるため、雑音を拾わないといったメリットがある。県内にも導入済み市町村があるので調査研究を行う。

問 町民の声に対し、各部署で対応しているが全体的

かつ能動的な対応が必要では。

答 総合的な対応をつかさどる特定の部署の設置などによらず、必要に応じて関係課による調整会議などで対応する。



窓口に設置されている助聴器

人材の発掘・育成

問 町の第6次総合振興計画では人材の発掘・育成について言及されているが、福祉ボランティアの活動状況をどう捉えているのか。

答 町には「芦屋町手をつなぐりボンの会」があり、精力的に活動を行っているが高齢化により会員数が減少し後継者が育っていない。

問 岡垣町は平成28年に福祉ボランティアポイント制度を設け、高齢者の生きがいづくりや介護予防などを目的に福祉活動の活性化をはかっているが。

答 ポイント制度の参加者は地域活動に参加する、友人に会う、笑うといった行動が増えているとのことである。財源を含め、制度構築に向けた調査研究を行う。

問 人づくりの施策として、人材育成事業補助金交付要綱が改正され、利活用度が充実した。普及啓発は。

答 補助金の利活用を促すため広報あしや、町のホームページや公式LINEなどにより、その周知をはかっている。

芦屋町高齢者福祉計画

住民主体の活動の支援計画は

福祉課長

社会福祉協議会と連携し行う



ほんだ ひろし
本田 浩



録画中継

問

芦屋町高齢者福祉計画の策定にアンケート調査を行ったが策定過程で住民の声はどの程度反映されているのか。

答

介護保険広域連合と町が行った2種類のアンケート調査を参考とした。それぞれの回答率は50・4％と56・4％の意見を聞くことができている。

問

半数を超える回答率は対象者の意向が十分反映されていると思うがどのようなものがあつたのか。

答

アンケートの結果を踏まえ、計画では7つの課題を抽出した。

問

在宅支援は地域での支え合いが重要となる。町の今後の住民活動の支援計画は。

答

互いに助け合える地域づくりが重要となる。そのため社会福祉協議会と連携し、住民主体の生活支援の推進や実施主体への支援を行っていく。

問

アンケートでみる高齢者の現状から、何らかの介護が必要と答えた人は9・7％で広域連合の9・1％より多くなっている。減少させる方策は何か考えているのか。

答

介護状態の予防が重要で虚弱（フレイル）状況を早期発見するため、介護保険広域連合が行ったアンケートを活用し、要介護状態になるおそれのある高齢者を訪問することにより介護予防の勧奨を行う。



芦屋町高齢者福祉計画・地域福祉活動計画冊子

問

コロナ禍での暮らしにより健康面の悪化を回答された中で、足腰の筋力・歩く速度の低下の回答が出ているが、予防や回復する方法は。

答

自治区公民館体操やサロン事業を行う地区の拡大を目指し、体操サポーターの育成にも取り組んでいく。

問

サロン事業を拡大し合同開催するモデル地区を作ってみては。

答

積極的に支援していく。

問

物価高騰のため、サロン事業運営費の事業補助金を増額変更する予定は。

答

必要に応じて物価高騰も考慮すべきであると思うので、各サロンの意見を聞き検討材料の1つとしたい。



録画中継

インセンティブ交付金

交付金で補聴器購入助成を

福祉課長

前向きに準備を進めていく

問 保険者機能強化推進交付金や介護保険保険者努力支援交付金の内容や仕組みは。

答 高齢者の自立支援・重度化防止につながる取り組みを積極的に行った県や市町村を評価し、その評価に基づき自治体に交付金を支給する制度である。町は介護保険広域連合に加入しているため必要額を申請する必要がある。保険者機能強化推進交付金は高齢者の自立支援や介護予防などの新規や拡充事業に充当することができる。

問 身体障害者手帳のある方は補聴器購入費助成の対象だが難聴の軽度中等度の方には補助はない。交付金を活用し、補聴器購入助成をする考えは。

答 交付金の対象は新規事業で後年に継続するか不明だが、老人憩の家廃止に代わる高齢者施策の1つとして高齢者補聴器助成事業の制度構築に向けて前向きに準備を進めていく。

洞山・堂山の整備

問 町は第6次芦屋町総合振興計画の実施計画で洞山・堂山の整備事業を進めている。令和5年度は「今後の進め方について協議」、令和6年度は「洞山・堂山の整備検討」であるがその結果は。

答 整備の方針などは地域の方の意見をよく聞いた上で検討を進めていくことが重要との結論に至り、今年度は柏原区や柏原区に属する関係団体、遠賀漁協柏原支所などに意見聴取を行い、その結果を令和7年度の実施計画に反映させたい。

問 堂山前の駐車場整備は。

答 現在20台の駐車場を整備しているが、休日などは歩道沿いやお堂の登り口周辺、また駐車スペースでない漁協の出入口を塞ぐ駐車もあると聞いています。今後は駐車台数の拡充や駐車禁止スペースを設けるなど、来訪者の安全面を配慮した対策を検討する。

問 洞山で落石が見られる。早急な安全対策が必要では。

答 洞穴付近に落石が確認され、ローピングの一部が破損している。破損したローピングは早急に修理し、洞穴の状態を確認していきたい。また、洞山・堂山全体の状況も必要に応じた対応を考える。



落石が見られる洞山



学校施設環境改善交付金

学校体育館の空調整備を

学校教育課長

他町の動向を注視する

問

文科省は夏の高温から子どもを守るためにも、頻発する自然災害の避難場所としての役割からも学校体育館の空調設備の設置に対する補助金を50%に引き上げ、設置を促している。空調設置の考えは。

答

利用団体から、体育館の空調設備設置の要望は今のところあがっていない。また、地域防災計画における小中学校の位置づけは指定緊急避難場所となっており、避難場所として開設する場合は空調のある教室を使用する想定である。現時点で整備する予定はない。

問

国の財政措置はほかにも国土強靱化債が50%、緊急防災減災事業は70%が交付税措置となっている。武道館や小体育館なども対象となる。こうした有利な起債を活用し災害対策や熱中症対策などの整備を行うべきでは。

答

今すぐ整備とはならないが、他の自治体での動きを注視しながら情報収集に努めたい。



空調設備がされていない小体育館

問

非正規雇用者はこの20年間に1.5倍増加し、賃金は正規雇用者の約67%にとどまり格差は拡大している。会計年度任用職員の今後の処遇をどうするのか。

会計年度任用職員の処遇改善

答

国からの通知を踏まえた対応を基本とする。勤勉手当も正規職員と同率での支給を検討していきたい。

問

昨年の人事院勧告では会計年度任用職員も常勤職員に準じて4月に遡及して支給するように求めたが町は引き上げていない。なぜか。

答

町の条例では人勧に伴う給与改定は翌年度から適用するとしているためである。

子どもの権利条例の制定

問

昨年の一般質問で子どもの権利条例は国が基本法の整備を行い、それに基づき町が条例制定を行うことが必要であり、調査研究を行いたいと答弁していた。こども基本法が施行されたが、どうするのか。

答

条例の制定内容など研究している。芦屋町こども計画策定の中で検討したい。



シティプロモーションの推進

ふるさと納税の再検討を

企画政策課長

寄附額の増に努める

問 新設されたシティプロモーション係の目的は。

答 シティプロモーション業務を集約し、迅速化や効率化につなげ、これまでの取り組みをブラッシュアップする。

問 ふるさと納税は地元の返礼品で消費拡大やシティプロモーションとして地域のPR、また財源の確保につながる。直近3年間の納税額と令和5年度の実際の納税額の収益は。

答 3年度約4368万円、4年度約1億2145万円、5年度の約4440万円に対し、経費を差し引いた約2255万円が収益である。

問 令和5年度に納税額が大きく落ち込んだ理由は。

答 返礼品の調達費用など寄附を募るのに必要となる経費基準の厳格化が主な理由である。

問 ポータルサイトが令和6年1月から3月まで稼働しておらず、販売期間も4月1日になっていた。納税期間の3カ月を無駄にしている理由は。

答 経費基準の厳格化のため行った。寄附の受け入れと返礼品の提供のタイミングがずれることで年度をまたぐ寄附を受け付けられないよう停止した。

問 隣町は納税額が6億を超え、サイト数も倍ある。ふるさと納税の再検討が必要だと考える。今後の取り組みは。

答 魅力ある返礼品の充実と納税サイト数の増で寄附額の増に努める。

問 返礼品に同封しているPRチラシやお礼状はあるか。また投稿に返信が無いが。

答 チラシやお礼状などは同封していない。返信はまず委託業者が対応している。

問 転出した方へのPRは。

答 非常に重要だと考える。東京芦屋会や転出者の方に納税チラシを配布している。

問 レジャー港化はシティプロモーションの絶好の機会だ。レジャー港にふるさと納税自販機の導入を検討しては。

答 レジャー港の進捗なども含めて設置については調査研究していく。



観光地などに導入されているふるさと納税自動販売機

総務財政委員会 視察

日程：5月14日（火）～16日（木）

場所：ONOMICHI U2、北浜アリー、万代中央ふ頭、
神戸赤煉瓦倉庫、父母ヶ浜

参加者：本田浩、香田一之、内海猛年、辻本一夫、貝掛俊之

倉庫が創出する街づくり

香川県や徳島県など4カ所の倉庫（ONOMICHI U2、北浜アリー（高松）、徳島万代中央ふ頭、神戸赤煉瓦倉庫）を視察しました。

リノベーションされた倉庫は観光地としてたくさんの観光客を魅了しています。中でも、徳島万代中央ふ頭は街のにぎわいを牽引するイベント広場になるまでに成長しており、今後の芦屋港レジャー港化推進の参考となりました。

また、日本のウユニ塩湖ともいわれる父母ヶ浜（香川県）は有名な撮影スポットとなっており、時期によっては芦屋海岸でも同様の撮影ができることから芦屋港レジャー港化推進のひとつとして提案していきたいと思いました。（本田）



万代中央ふ頭で事業者を囲んで



ONOMICHI U2

議会広報委員会 視察

日程：5月20日（月）～22日（水）

場所：北谷町議会、北中城村議会

参加者：長島毅、貝掛俊之、本田浩、萩原洋子、
香田一之、田中太

住民参画の紙面づくり

沖縄県北谷町議会と北中城村議会を視察しました。北谷町議会は①編集体制、②読者目線、③親しみやすい紙面の3本柱で編集方針を策定、付随してきめ細かな編集作業マニュアルを作成し、芦屋町議会としても作業の効率化、公平・公正な紙面づくりのためにはマニュアル策定は必要だと感じました。

北中城村議会は一般質問のレイアウト（写真の位置など）の固定化や、効率的で見やすい紙面づくり、また顔写真の下に座右の銘や趣味なども掲載され、親しみやすさを感じました。

より多くの住民の方が登場する企画を特集しており、まさに住民と協働の紙面づくりであると実感しました。この視察を参考に、住民参画の紙面づくりを意識して取り組んでいきます。（貝掛）



北谷町議会



視察の様子

おんがレガッタ

日 程：5月25日（土）

場 所：遠賀川漕艇場

遠賀町制施行60周年の記念大会に挑みました。船をこぐ前から、あちらこちら痛い芦屋町議会の腰痛号は、なんと予選を道中逆転し突破。準決勝に進むも惨敗。去年のタイムを10秒以上縮めるも、上位チームとの差はかなりあり、決勝で戦える船脚ではないことを感じました。やるからには全力。来年度は芦屋町出身のボート経験者にコーチを依頼し、さらに躍進する予定です。（田中）



おんがレガッタ会場にて

ハラスメント研修

日 程：7月11日（木）

場 所：ホテル日航福岡

全国に先駆けてハラスメント条例を制定した福岡県議会主催の研修会に参加しました。講師は上智大学の三浦まり先生、演題は「議会ハラスメントの防止に向けて」でした。国の調査では男性議員より女性議員の方がハラスメントを受けた割合が高く、政治分野でも女性にはハラスメントを受けやすいとのことでした。

今後ハラスメントのない議会づくりに取り組みたいと思います。（萩原）



研修会場にて

議会を傍聴しませんか！

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。ぜひお越しください。

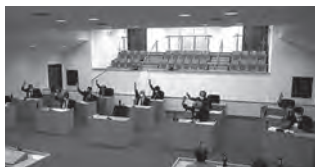
**次回の定例会は
9月6日開会予定**

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

TEL 093-223-3579

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後（土日祝日のぞく）です。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

大雨洪水避難訓練

日 程：6月22日（土）

場 所：総合体育館

大雨洪水や土砂災害を想定して芦屋町が行った避難訓練を見学しました。

会場となった総合体育館では、避難者のスムーズな受け入れや避難者用テント、簡易トイレの組み立てなどを訓練するとともに災害への備えに関するクイズ形式の講習が行われました。

折しも梅雨のさなか激しい雨が降る中で、緊張感あふれる訓練となりました。（香田）



避難者用テント前にて

町かど インタビュー



表紙の後ろ姿は、この人っちゃ。芦屋町に移住してきた、海をこよなく愛する爽やか男にインタビューしたっちゃ！

海への愛は誰にも負けません。(笑)

芦屋町への想いを聞いた！



和田英人さん（三軒屋区）

Q 芦屋町に移住したきっかけは何ですか？

A 以前は北九州市に住んでいました。その頃からよく訪れていた芦屋町の自然や海にほれ込み、移住を決断しました。

Q お気に入りの場所は？

A もちろん芦屋町の海です。特に柏原の海から見る夕日は最高で、いつも癒されています。

Q 町での過ごし方は？

A 昔から水上バイクの安全指導員で水難救助の仕事をしています。現在も、芦屋町のライフセーバーさんに操船指導や救助の指導をしています。休日は仲間とビーチクリーンを行っています。

Q 芦屋の海にひとこと

A いろいろなアクティビティが安全に楽しめる



感謝状を手に、笑顔あふれる

海上保安庁より表彰



安全指導員中の和田さん（写真左）

ようなビーチになって欲しいし、自分もそんな活動をしていきたいです。

編集後記

議員になる以前の私はマジ、「議会だより」を読んだことがなく、議員になった今、編集に携わってるなんて人生何が起きるかわからないなと思うこの頃です(笑)。

あの頃の自分を振り返ると「議会だより」って難しい内容で自分には直接関係ないと思っていました。

この経験を踏まえて編集にあたっては、皆さまの関心に沿った話題やぜひ知ってほしい議会の情報をわかりやすくお届けできるように着意していきます。

香田 一之

【発行責任者】

議長 内海 猛年

【議会広報常任委員会】

委員長 長島 毅

副委員長 貝掛 俊之

委員 本田 浩

委員 萩原 洋子

委員 香田 一之

委員 田中 太